

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0062-5)
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物):Plant Buffer P5

初回作成日:2026年3月18日
前回改訂日:一年一月一日
最新改訂日:一年一月一日
版番号:第1版

1. 化学品及び会社情報

1.1 化学品の名称

| | |
|--------|--|
| 製品名 | FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物) FastGene™ Genomic DNA Extraction Kit(Plant) |
| 製品番号 | FG-GD050P FG-GDP-P5 (Plant Buffer P5 単品) |
| バッファー名 | Plant Buffer P5 |

1.2 化学品の推奨用途及び使用上の制限

| | |
|--------|-----------|
| 推奨用途 | 試験研究用実験試薬 |
| 使用上の制限 | 専門ユーザー向け |

1.3 提供者の詳細

| | |
|------------|---|
| 供給者の会社情報 | 日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962 |
| 供給者の緊急時連絡先 | 電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp |

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS分類

| 危険有害性項目 | 危険有害性区分 |
|-----------|-----------------|
| 物理化学的危険性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 健康に対する有害性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 環境に対する有害性 | 区分に該当しない/分類できない |

2.2 GHSラベル要素

| | |
|-----------|-------|
| 絵表示又はシンボル | 該当しない |
| 注意喚起語 | 該当しない |
| 危険有害性情報 | |
| 物理的危険性 | 該当しない |
| 健康有害性 | 該当しない |
| 環境有害性 | 該当しない |
| 注意書き | |
| 安全対策 | 該当しない |
| 応急措置 | 該当しない |
| 保管 | 該当しない |
| 廃棄 | 該当しない |

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0062-5)
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物): Plant Buffer P5

3.2 化学名又は一般名

| | 化学名又は一般名 | CAS 番号 | 濃度又は濃度範囲 |
|----|--|--------|----------|
| ① | 非危険有害性物質 (非公開) Non-Hazardous Substances (Unpublished) | N/A | N/A |
| 注意 | 本製品に含まれる成分のうち、組成や濃度が営業秘密に該当するものについては、関連法規に基づき、成分名を非公開、濃度を非公開もしくは幅記載としています。また、製品仕様上、濃度にばらつきがある場合は、幅記載としています。SDS に記載がなくとも、危険有害性を有さない成分、法令により開示義務のない濃度未満の成分が含まれている可能性があります。 | | |

4. 応急措置

| | |
|----------------|---|
| 一般的な初期手当て | 事故が起きた時や気分が悪い場合は、直ちに医療処置を受けること。 |
| 吸入した場合 | 患者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い場合は、医療処置を受けること。 |
| 皮膚(又は髪)に付着した場合 | 多量の水と石鹸で洗い流すこと。 皮膚刺激や発疹が生じた場合は、医療処置を受けること。 |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗い流すこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。 刺激が続く場合や炎症が生じた場合は、医療処置を受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぎ、多量の水で薄めること。 気分が悪い場合は、医療処置を受けること。 |

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

| | |
|-------------|---|
| 適切な消火剤 | 本品は不燃性のため、周辺火災に適した消火剤を用いること。 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂、二酸化炭素消火剤など |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし |

5.2 火災時の特有の危険有害性

| | |
|-------|------|
| 危険有害性 | 情報なし |
|-------|------|

5.3 消火活動を行う者の特別な保護具

| | |
|------------|--|
| 消火を行う者の保護具 | 関係者以外は安全な場所に退避させること。 水噴霧により容器を冷却すること。 安全な距離から散水冷却し、周囲の設備を保護すること。 消火水が下水へ流入するのを防ぐこと。 |
|------------|--|

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

| | |
|------------|--|
| 人体に対する注意事項 | 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。 風上から作業して、風下の人を退避させること。 |
| 保護具 | 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ミスト/ガス/蒸気/スプレーを吸入しないようにすること。 |
| 緊急時措置 | 漏出場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止すること。 |

6.2 環境に対する注意事項

| | |
|------------|------------------------------|
| 環境に対する注意事項 | 漏出物が下水道、排水溝、低地へ流入しないようにすること。 |
|------------|------------------------------|

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0062-5)
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物): Plant Buffer P5

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 封じ込め及び浄化の方法・機材 | 不活性物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収すること。 |
|----------------|---------------------------------|

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

| | |
|----------|--|
| 技術的対策 | 蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置すること。 |
| 安全取扱注意事項 | 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与える、引きずる等の粗暴な扱いをしないこと。 |
| | 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりにミストやスプレー、蒸気を発生させないこと。 |
| | 使用後は容器を密閉すること。 |
| 衛生対策 | 吸い込んだり、眼、皮膚、衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用すること。 |
| | 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 |

7.2 保管

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 安全な保管条件 | 容器を密閉し、直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | ガラス、プラスチック等(密閉できるもの) |

7.3 その他の情報：特定の最終用途は、項目 1.2 を参照すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 許容濃度等

| | |
|-------------|----------|
| 管理濃度、作業環境基準 | 設定されていない |
| 許容濃度 | 設定されていない |

8.2 設備対策

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| ばく露を軽減するための設備対策 | 蒸気やミストが発生する場合は、排気/換気設備を設けること。 |
|-----------------|-------------------------------|

8.3 保護具

| | |
|--------------|-------------------------|
| 呼吸用保護具 | 適切な保護マスク |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋 |
| 眼及び/又は顔面の保護具 | 適切な保護眼鏡(必要に応じてゴーグル型) |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣、保護靴 |
| 衛生対策 | マスク等は定期的または使用の都度交換すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------------|-------|
| 物理状態(外観/形状) | 液体 |
| 色 | 無色透明 |
| 臭い | データなし |
| 臭いの閾値 | データなし |
| 融点/凝固点(軟化温度/範囲) | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 可燃性(液体、ガス) | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限值 | データなし |

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0062-5)
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物): Plant Buffer P5

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 7~9 |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 水と任意で混和する |
| n-オクタノール/水分配係数(log 値) | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び/又は相対密度 | 1.0 g/cm ³ |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--------------------------|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 適切な使用条件および保管条件下では安定している。 |
| 危険有害反応の可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 高温、直射日光、熱、裸火 |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11. 有害性情報

| 危険有害性項目 | 内容 |
|------------------|---|
| 急性毒性 | (経口)区分に該当しない/分類できない (経皮)区分に該当しない/分類できない (吸入)区分に該当しない/分類できない |
| 皮膚腐食性/皮膚刺激性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 呼吸器感受性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 皮膚感受性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 発がん性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 生殖毒性 | 区分に該当しない/分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分に該当しない/分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分に該当しない/分類できない |
| 誤えん有害性 | データ不足のため分類できない。 |

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

| | |
|--------------|-----------------|
| 水生環境有害性(急性) | データ不足のため分類できない。 |
| 水生環境有害性(長期間) | データ不足のため分類できない。 |

12.2 残留性・分解性: データ不足のため分類できない。

12.3 生物蓄積性: データ不足のため分類できない。

12.4 土壌中の移動性: データ不足のため分類できない。

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0062-5)
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物): Plant Buffer P5

12.5 他の有害影響

| | |
|-----------|-----------------|
| オゾン層への有害性 | データ不足のため分類できない。 |
|-----------|-----------------|

13. 廃棄上の注意

13.1 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

| | |
|-----------|--|
| 製品及び残余廃棄物 | 内容物/容器は、関係法令及び地方公共団体の規則に従い、産業廃棄物として適切に廃棄すること。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険有害性を告知すること。 |
| 汚染容器及び包装 | 完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処理すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関係法令及び地方公共団体の規則に従い適切に処分すること。 |

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

| | |
|---|---|
| 国連番号 (UN Number) | 非該当 |
| 品名(国連輸送名) (UN Proper Shipping Name) | 非該当 |
| 国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class) | 非該当 |
| 容器等級 (Packing Group) | 非該当 |
| 海洋汚染物質 | 非該当 |
| ユーザー向け特別注意事項 | ADR/RID(陸上規制)、ADN(内陸水路規制)、IMO/IMDG-Code(海上規制)、ICAO/IATA-DGR(航空規制)で規制された危険物ではない。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にすること。 |

14.2 国内規制

| | |
|--------|------------------------------------|
| 海上規制情報 | 船舶安全法の規定に従うこと。 |
| 航空規制情報 | 航空法の規定に従うこと。 |
| 陸上規制情報 | 毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。 |

15. 適用法令

15.1 該当法令

| | |
|-------------|--------------|
| 化審法 | 非該当 |
| 化管法/PRTR 法 | 非該当 |
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 消防法 | 非該当 |
| 廃掃法 | 産業廃棄物 |
| 麻薬及び向精神薬取締法 | 非該当 |
| 覚醒剤取締法 | 非該当 |
| 薬機法 | 非該当 |
| カルタヘナ法 | 非該当 |
| 火薬類取締法 | 非該当 |
| 高圧ガス保安法 | 非該当 |

安全データシート(SDS 番号:SDSFG0062-5)
FastGene™ ゲノム DNA 抽出キット(植物): Plant Buffer P5

| | |
|----------------|-----|
| 化学兵器禁止法 | 非該当 |
| 大気汚染防止法 | 非該当 |
| オゾン層保護法 | 非該当 |
| 悪臭防止法 | 非該当 |
| ダイオキシン類対策特別措置法 | 非該当 |
| 水質汚濁防止法 | 非該当 |
| 下水道法 | 非該当 |
| 水道法 | 非該当 |
| 海洋汚染防止法 | 非該当 |
| 航空法 | 非該当 |
| 船舶安全法 | 非該当 |
| 港則法 | 非該当 |
| 道路法 | 非該当 |
| 労働基準法 | 非該当 |
| 農薬取締法 | 非該当 |
| 土壌汚染対策法 | 非該当 |
| 水銀汚染防止法 | 非該当 |
| 地球温暖化対策推進法 | 非該当 |
| フロン排出抑制法 | 非該当 |

16. その他の情報

この安全データシート(SDS)は、作成時点において入手可能な製品情報および危険有害性情報に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。このため、新たな情報を入手した場合には、内容を追加または訂正することがあります。また、本 SDS に記載された情報は、製品の通常の取扱いを前提として提供するものであり、すべての使用条件下での安全性を保証するものではありません。ご使用に際しては、実際の作業条件に応じて十分な安全対策を講じてください。

引用文献及び参照ホームページ等

- ・サプライヤー提供の SDS
- ・JIS Z 7252: GHS に基づく化学品の分類方法
- ・JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- ・ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上